

希望の空へ



ひ 人にやさしく
ひ 自信をもつて
ひ ふるさとを愛し
た たくましく

2026年1月9日
No.17

合言葉

みんなで笑顔

三豊市立比地小学校

〒767-0004

三豊市高瀬町比地93番地

TEL 0875-72-5213

FAX 0875-56-2054

文責 宇川 智典

新年明けましておめでとうございます。

2026年がスタートし、比地小学校に子どもたちの笑顔と元気な声が戻ってきました。

本校の合言葉「みんなでえがお」を大切にしながら、友だちと支え合い、学び合う毎日をつくりていきます。一人一人が安心して挑戦できる学校を、教職員一同力を合わせて進めてまいります。本年も、保護者・地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。

右の絵は、子どもたちに版画の指導をしてくださっている安藤秀信氏作の、今年の干支の午（うま）にちなんだ版画です。タイトルは「お堂の探検」で、観音様の頭上に馬が描かれています。安藤様、毎年素敵な版画のプレゼントをありがとうございます。



地震発生時の対応

地震などの自然災害は、いつどこで起きてもおかしくない状況にあります。1月6日には、香川県で震度4の地震が発生しました。発生を防ぐことはできませんが、備えによって被害を軽減することができます。学校で行っているデジ防災や避難訓練を思い出して、万が一の事態に備えましょう。

本校では右に示した三豊市教育委員会の「地震発生時の対応マニュアル」に基づいて対応します。ご理解の上、ご協力いただきますようお願いいたします。

地震が発生したときの初期対応

(震度5弱以上の場合は、学校に留め置きます)

- 児童在校中に地震が発生した時は、ただちに児童に避難行動をとらせ、身の安全を確保します。
- 揺れがおさまった後は、第一次避難場所で点呼をし、児童の安全を確保しつつ、学校内外の被害状況の把握に努めます。
- 三豊市内で震度5弱以上の地震であることが分かった場合、引き続き、学校に留め置きます。保護者が、児童を引き取りに来校するまで、児童を学校で預かります。
- 【巨大地震が発生した場合、電話やH&Sが使用できないことがあります。その際は、学校からの連絡がなくとも、保護者の皆様の判断で児童の引き取りにお越しください。】
- 登下校中に大きな地震が起きた場合は、学校や自宅・指定避難場所等の中で、最も近くで安全なところへ避難します。

三豊市(学校組合)立小・中学校の地震発生時の対応マニュアル

三豊市に震度5弱以上の地震が発生した場合

【児童・生徒が家にいるときの対応】→自宅待機(避難)

- 震度5弱以上の地震が発生した場合は、自宅待機とする。
- 生命の安全確保を最優先し、行政(三豊市災害対策本部等)の指示に従って行動する。
- 自宅待機(避難)の解除は、防災行政無線や三豊市メール配信サービス等を通じて連絡する。

【児童・生徒が登下校時の場合】

- 大きな揺れに遭遇した場合は、ブロック塀や自動販売機等から離れ、頭部を保護しながら揺れが収まるまで身の安全を確保する。
- 大きな揺れが収まったら、学校や自宅・指定避難場所等の中で、最も近くで安全なところへ素早く避難する。
- 学校職員は、児童・生徒の安否確認と地区パトロールを行う。

【児童・生徒が学校にいる場合】

- 揺れが収まるまで安全を確保する。
- 教員の指示で、校庭・指定避難場所等に避難する。
- 安全が確認できれば、防災行政無線や三豊市メール配信サービス等を使って、今後の対応や児童・生徒の引渡し等について連絡する。